

スピードメーターコントローラーキット2 / 純正メーター用 取扱説明書

(純正3線式センサ車用)

製品番号 05-06-0065

適応車種	ハンターカブ GT125	(JA55-1000001 ~)
	モンキー 125	(JB03-1000001 ~) (JB05-1000001 ~)
	モンキー 125 タイモデル	(MLHJB03)
	GROM	(JC92-1000001 ~)
	MSX GROM	(MLHJC92)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

◎補修部品につきましてはリペア品番にてお申し込み下さい。尚、不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

◎製品には、エッジや突起がある場合があります。必ず作業手袋を着用し作業を行って下さい。

(説明書内で作業手袋未着用の写真がある場合でも、作業時は作業手袋等を着用して下さい。)

◎当製品は、上記適応車種の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。

◎表示速度を増減補正する事が出来ませんが、不適切な設定を行えば速度超過により取り締まりを受ける原因ともなります。

公道でお使いになる場合は、ご自身の責任に於いてご使用下さい。

～特 徴～

○車両のカスタム等により、スプロケット、タイヤ銘柄やタイヤサイズを変更してもスピードメーターコントローラーに備えたUP・DOWNスイッチで設定する事により、表示速度を-60 ~ +60%に1%単位で補正する事が可能です。

○専用の取り付けハーネスにより、純正ハーネスを切断したりする事無く、カプラーオンで取り付けが可能です。

☆ご使用にあたっての注意点☆

◎併用出来ない部品について。

社外品のH.I.D.キットや他社製LEDヘッドライトはバラスト/インバーター(電圧変換装置)からデジタル回路に悪影響を与える高電圧ノイズが出る場合がほとんどで、製品故障や動作不良の原因となりますので、絶対に同時装着しないで下さい。

社外品の点火装置(イグニッションコイルやプラグコード)は点火電圧のアップに伴う、放射ノイズの増大により誤動作や製品故障の原因となりますので使用しないで下さい。

社外品の発電装置は発電量の不足や電圧波形の違いにより故障の原因となりますので、使用しないで下さい。

◎当製品は防水・防滴構造ではありません。

当製品は防水・防滴構造ではありませんので、雨や水がかかると、本体内に水が浸入し故障する可能性があります。

洗車時と同様にご注意下さい。本体に水が入ってしまった場合は直ちに使用を止めて下さい。

◎当製品のボディーは樹脂製です。

劣化を防ぐ為に長期、野外にバイクを置く場合はカバー等をかけて下さい。炎天下の中など過酷な条件下で長期放置しますと、樹脂やゴム製部品の劣化や変形が考えられます。

◎絶対に分解しないで下さい。

大変危険ですので分解や改造を行わないで下さい。又、お客様で分解された場合、点検や修理をお受けする事が出来なくなりますのでご注意下さい。

◎激しい衝撃を与えないで下さい。

当製品に強い衝撃が伝わる事は行わないで下さい。

衝撃により内部部品の脱落や断線による修理不能な故障や、本体ケース破損の恐れがあります。

◎お手入れについて

頑固な汚れがある場合は水に少量の中性洗剤を溶かし、ゆっくり丁寧に汚れを落として下さい。

揮発性のあるもの(シンナー・アルコールなど)やコンパウンドを使用すると、樹脂部分の変質の恐れや、パネルが曇ってしまいますのでご注意下さい。

⚠ 注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

■一般公道では、法定速度を守り違法運転を心掛けて下さい。(法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)

■作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジン及びマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)

■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)

■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。)

■製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、作業手袋等を着用し手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)

■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。

(部品の脱落の原因となります。)

⚠ 警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)

■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)

■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)

■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(事故につながる恐れがあります。)

■製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)

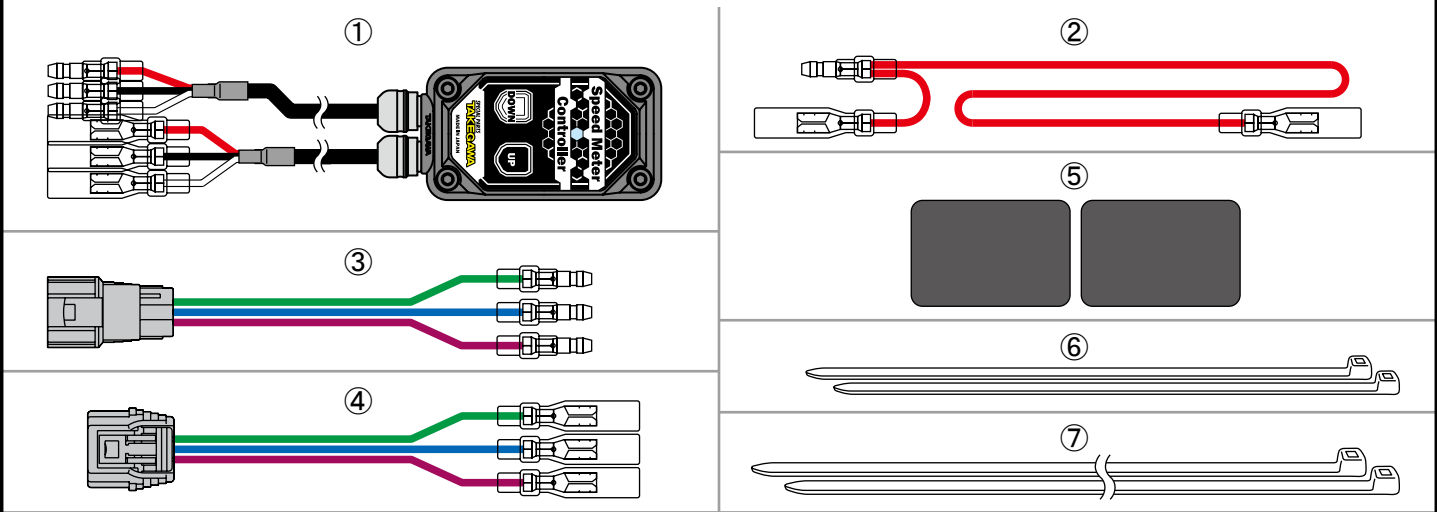
株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東3-5-16

TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させていただきます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

製品内容

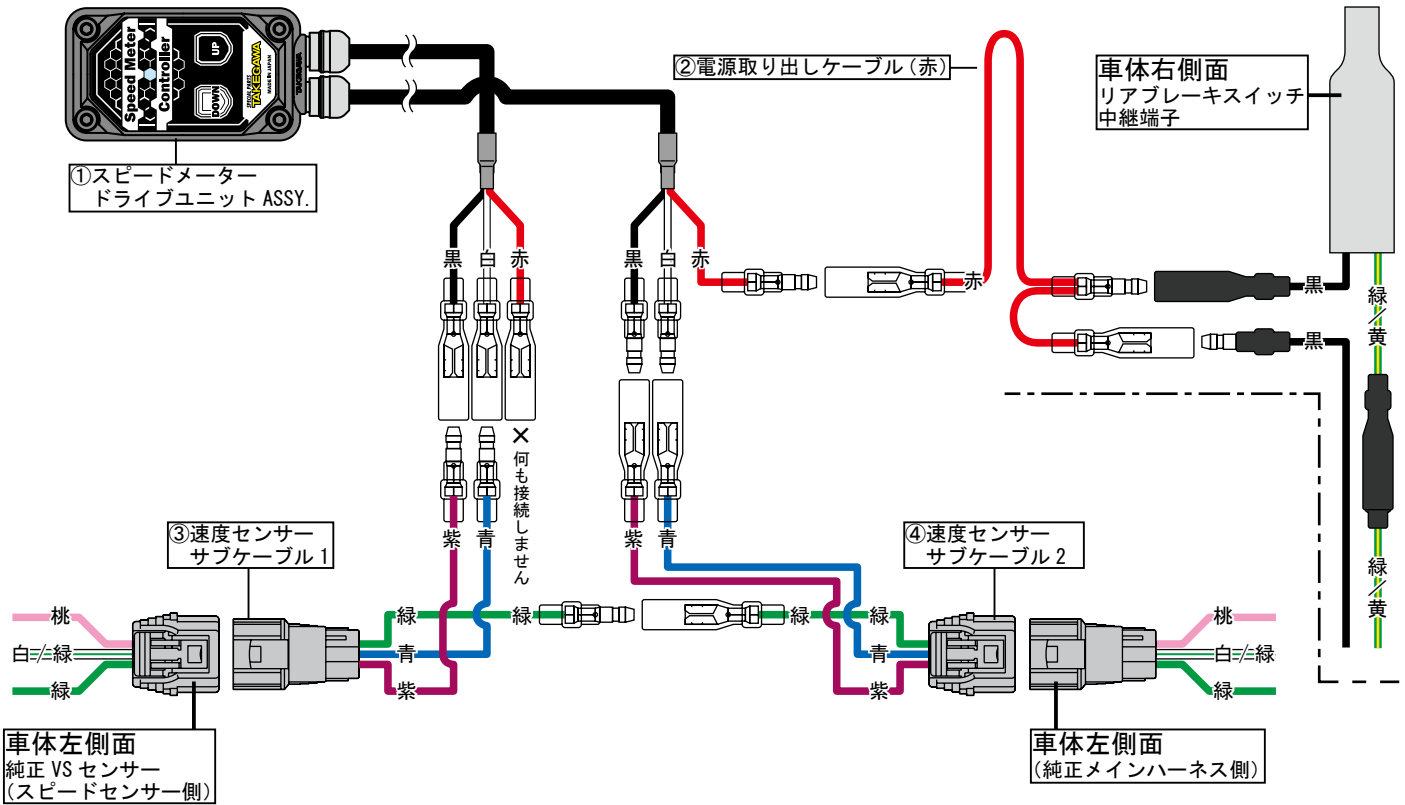


番号	部 品 名	個数	リペア品番
1	スピードメータードライブユニット ASSY.	1	
2	電源取り出しケーブル	1	00-05-0190
3	速度センサーサブケーブル 1	1	00-05-0403
4	速度センサーサブケーブル 2	1	00-05-0404
5	マジックテープセット	1	00-00-0150
6	結束バンド 150mm (ブラック)	2	00-00-0135 (10ヶ入り)
7	結束バンド 200mm (ブラック)	2	00-00-0269 (10ヶ入り)

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。
品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。
※リペアパーツはキット内容と若干、形状等異なる場合があります。
使用につきましては問題ございません。予めご了承下さい。

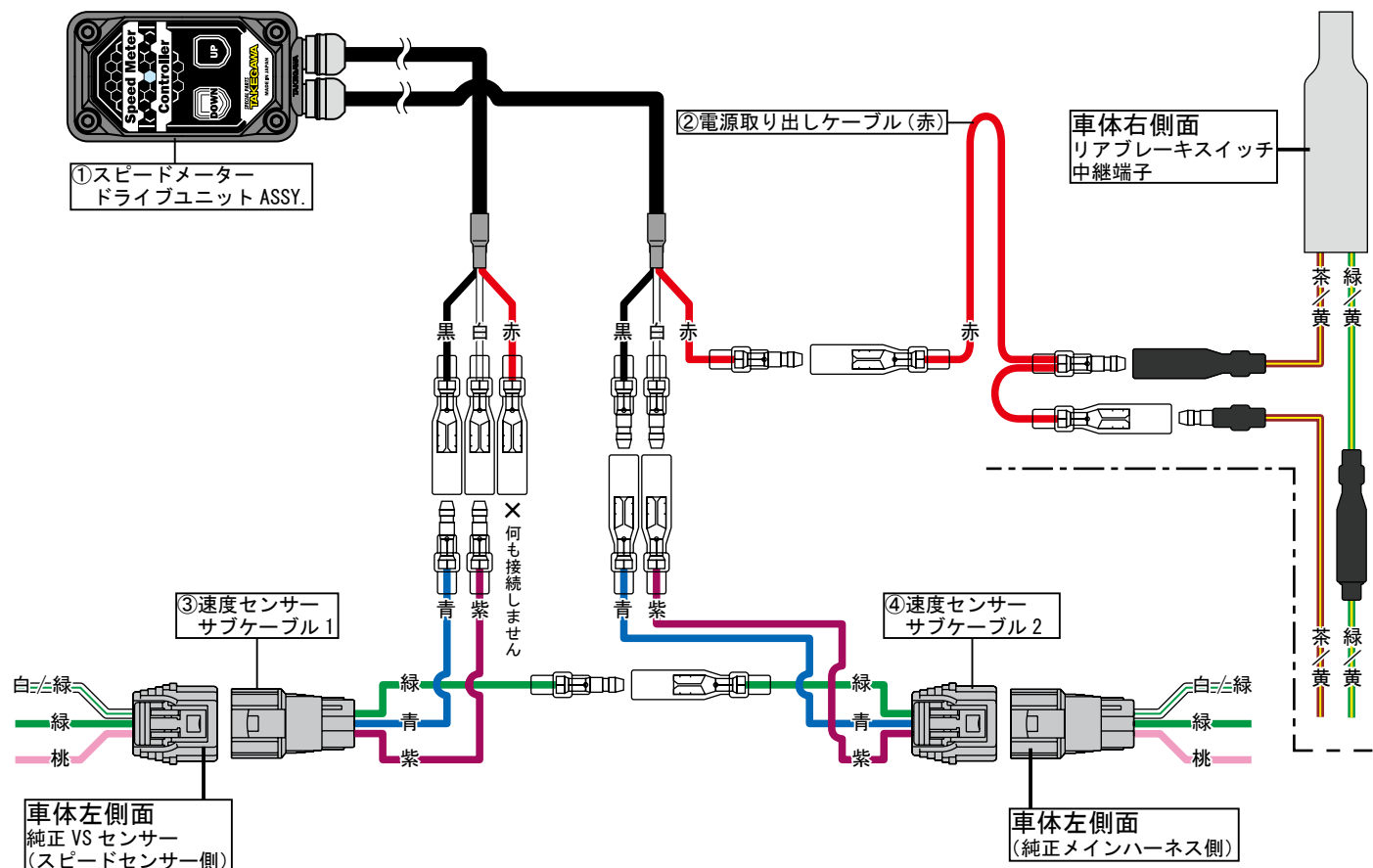
■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

CT125・ハンターカブ (JA55) 用スピードセンサーキット配線図



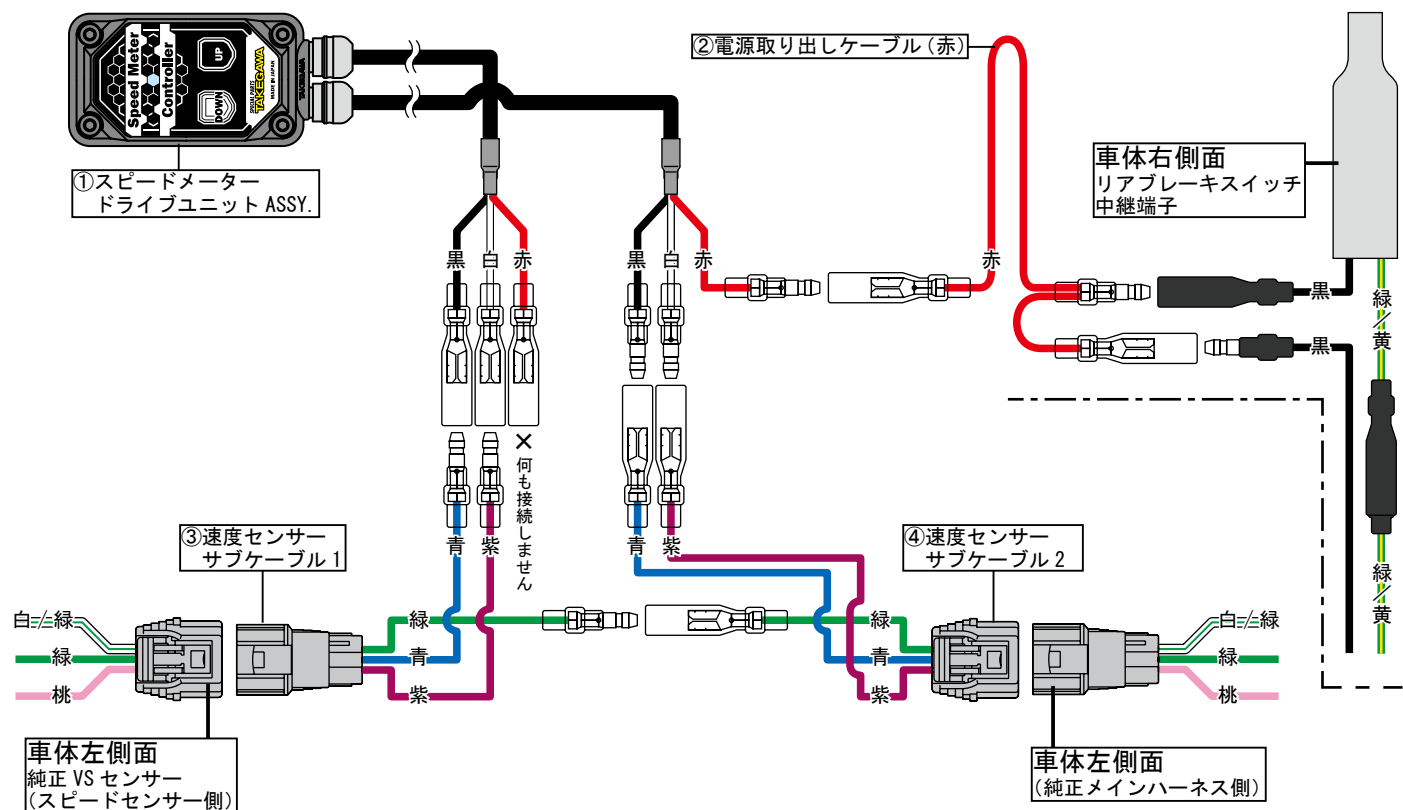
※速度センサーサブケーブルは延長しないで下さい。誤動作の原因となります。

モンキー 125 (JB03) (JB05) ・ タイモデル (MLHJB03) 用スピードセンサーキット配線図



※速度センサーサブケーブルは延長しないで下さい。誤動作の原因となります。

GROM (JC92) ・ MSX GROM (MLHJC92) 用スピードセンサーキット配線図



※速度センサーサブケーブルは延長しないで下さい。誤動作の原因となります。

●接続配線：車両により組付け要領が異なります。

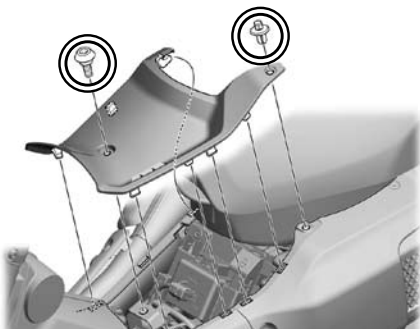
ハンターカブ CT125

■車体左側 速度信号の取り出し

◇センターカバー

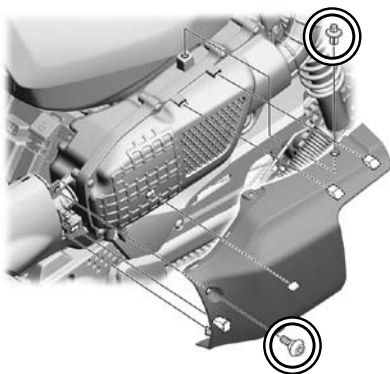
○バンパーシールクリップとパンスクリュー 6x14 を取り外し、センターカバーを取り外します。

○バッテリーのマイナス端子を取り外します。



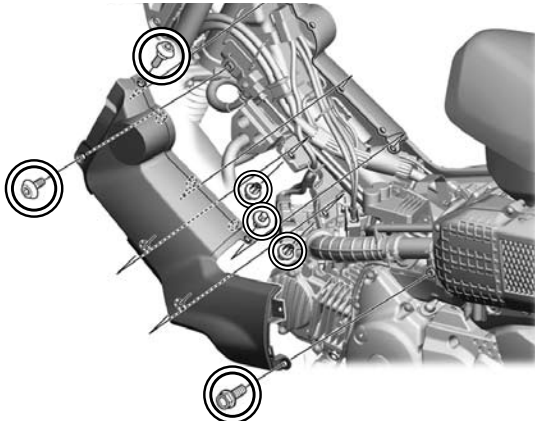
◇エアクリーナーガーニッシュ

○リベットブッシュ 6mm とパンスクリュー 5x14 を取り外し、爪に注意しエアクリーナーガーニッシュを取り外します。



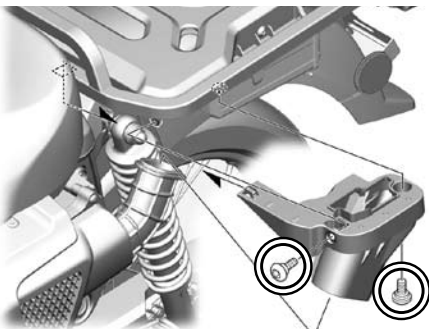
◇L. メインパイプカバー

○フランジボルト 6x12、パンスクリュー 5x14、パンスクリュー 6x10、リベットブッシュ 6mm 3 個を取り外し、L. メインパイプカバーを取り外します。



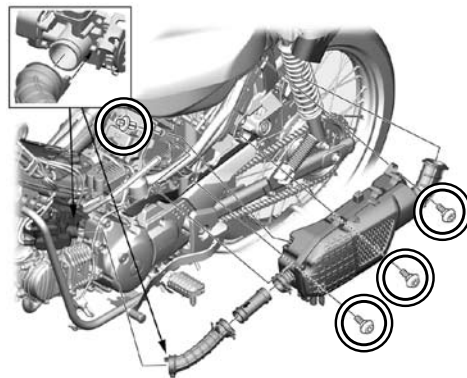
◇エアクリーナーダクトキャップ

○リアキャリアに固定されているスペシャルスクリュー 5x14 2 箇所を取り外し、エアクリーナーダクトキャップを取り外します。



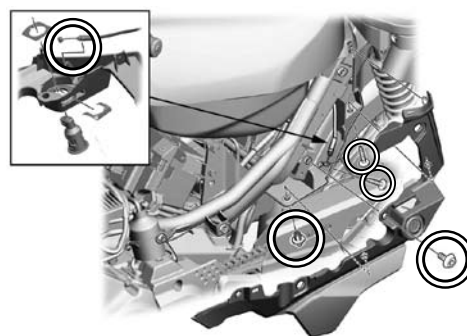
◇エアクリーナーケース

○スロットルボディーとエアクリーナーコネクティングチューブを固定しているバンドを緩めます。エアクリーナーケースを固定しているパンスクリュー 6x14 3 箇所を取り外し、バンパーシールクリップ 1 箇所を外し、エアクリーナーケースを取り外します。



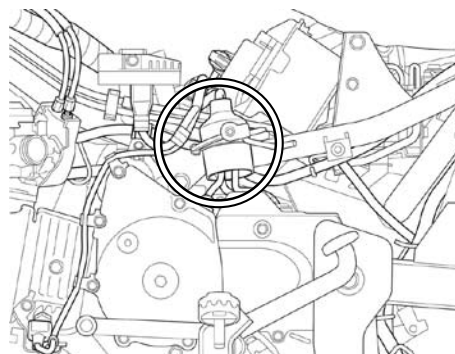
◇L. サイドカバー

○L. サイドカバーを固定しているリベットブッシュ 6mm とタッピングスクリュー 4x12 2 箇所、パンスクリュー 6x10 を取り外し、シートロックのケーブルから取り外し、L. サイドカバーを取り外します。



◇スピードセンサーカブラ

○ラバーブーツ内の VS センサー 3P (黒色カブラ：スピードセンサー) カブラ部とメインハーネス側 3P カブラの接続を取り外します。



◇カブラ接続

○接続を外した 3P カブラに③、④速度センサーケーブル 1 と 2 を接続します。

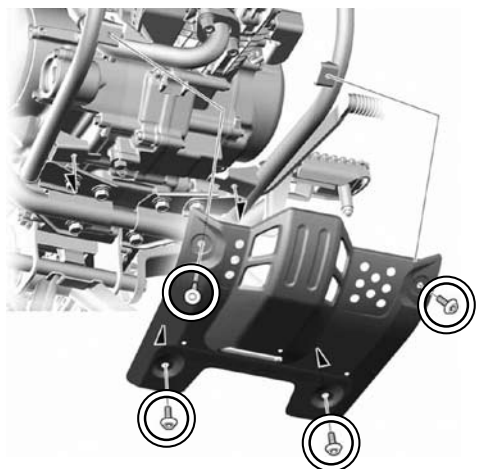


ハンターカブ CT125

■車体右側 電源取り出し

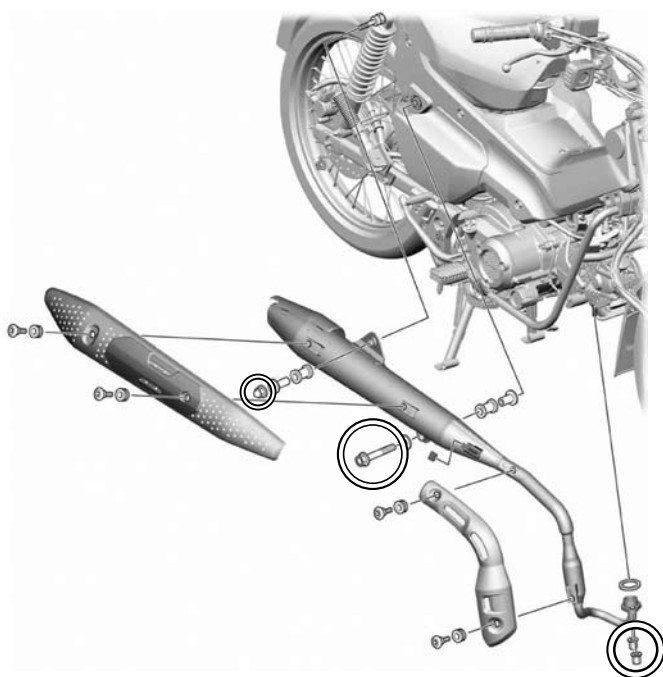
◇アンダーカバー

○アンダーカバーを固定しているパンスクリュー 6x10 を取り外し、アンダーカバーを取り外します。



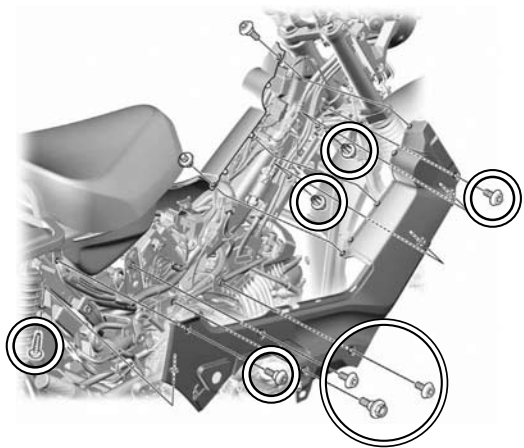
◇マフラー

○マフラーを固定しているキャップナット 8mm、フランジボルト 8x45、フランジナット 8mm を取り外しマフラーを取り外します。



◇R. メインパイプカバー

○フランジボルト 6mm、パンスクリュー 5x14、パンスクリュー 6x10、リベットプッシュ 6mm、タッピングスクリュー 4x12 を取り外し、L. メインパイプカバーを取り外します。



◇リアブレーキスイッチ

○リアブレーキスイッチに接続されている車体側の黒色ギボシ端子を取り外します。



◇②電源取り出しケーブルの接続

○取り出したギボシ端子に②電源取り出しケーブルを接続します。



◇①スピードメータードライブユニット ASSY. の取り付け

○⑤マジックテープセットを使用し、メインパイプ左側に①スピードメータードライブユニット ASSY. を貼り付けます。



◇①スピードメータードライブユニット ASSY. の設定

○バッテリーのマイナス端子を戻し、取扱説明書の P8、P9 の説明に従い設定して下さい。

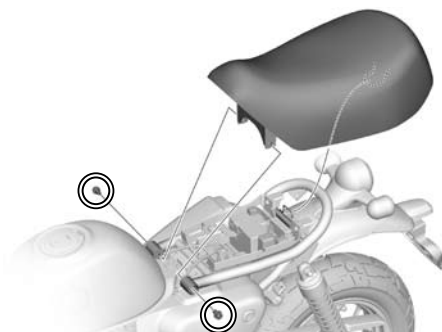
◎設定が全て終了すれば逆手順で取り外した部品を組み戻します。

モンキー 125 (モンキー 125 タイモデル含む)

■車体左側 速度信号の取り出し

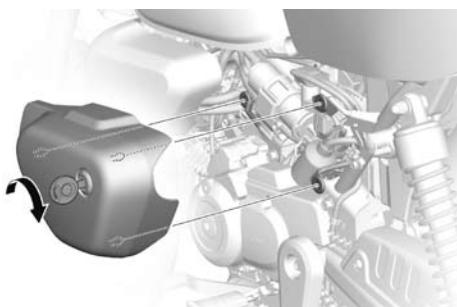
◇シート

- フランジボルト 8mm を取り外し、シートを取り外します。
- バッテリーのマイナス端子を取り外します。



◇サイドカバー

- イグニッションキーを使用し、サイドカバーを取り外します。



◇スピードセンサーカブラ

- ラバーブーツ内の VS センサー 3P (黒色カブラ：スピードセンサー) カブラ部とメインハーネス側 3P カブラの接続を取り外します。



◇カブラ接続

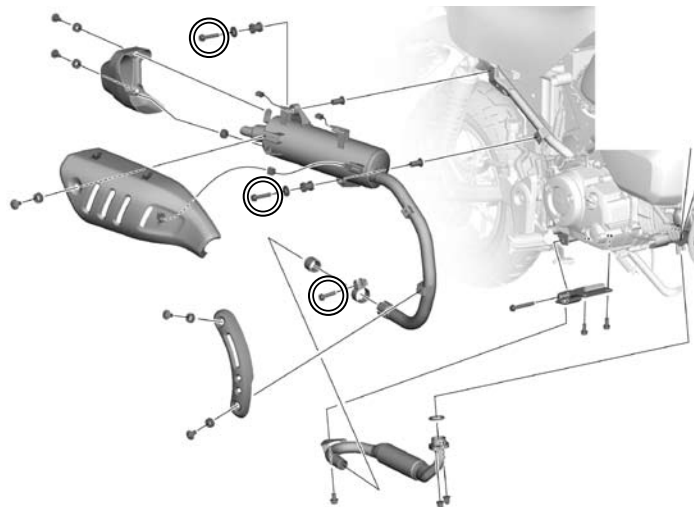
- 接続を外した 3P カブラに③、④速度センサーサブケーブル 1 と 2 を接続します。



■車体右側 電源取り出し

◇マフラー

- マフラーを固定しているフランジボルト 8x40、8x32 を取り外し、マフラーを取り外します。



◇リアブレーキスイッチ

- リアブレーキスイッチに接続されている車体側の茶 / 黄色ギボシ端子を取り外します。



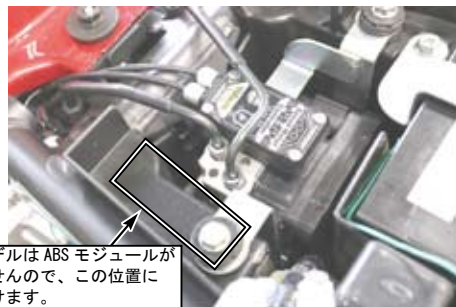
◇②電源取り出しケーブルの接続

- 取り出したギボシ端子に②電源取り出しケーブルを接続します。接続したらキャップを被せます。



◇①スピードメータードライブユニット ASSY. の取り付け

- ⑤マジックテープセットを使用し、シート下の ABS モジュール上に①スピードメータードライブユニット ASSY. を貼り付けます。



タイモデルは ABS モジュールがありませんので、この位置に貼り付けます。

◇①スピードメータードライブユニット ASSY. の設定

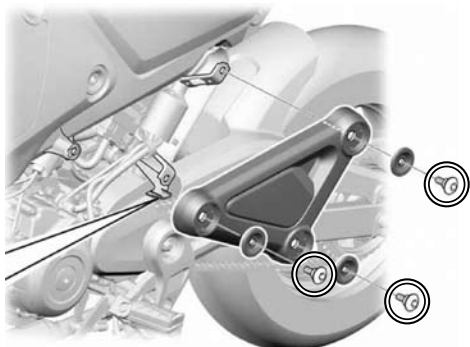
- バッテリーのマイナス端子を戻し、取扱説明書の P8、P9 の説明に従い設定して下さい。
- ◎設定が全て終了すれば逆手順で取り外した部品を組み戻します。

GROM (MSX GROM)

■車体左側 速度信号の取り出し

◇サイドカバー A

○パンスクリュー 5x14 を取り外し、サイドカバー A を取り外します。



◇スピードセンサーカブラ

○PGM-FI ユニットカブラ奥の VS センサー 3P (黒色カブラ: スピードセンサー) カブラ部とメインハーネス側 3P カブラの接続を取り外します。



◇カブラ接続

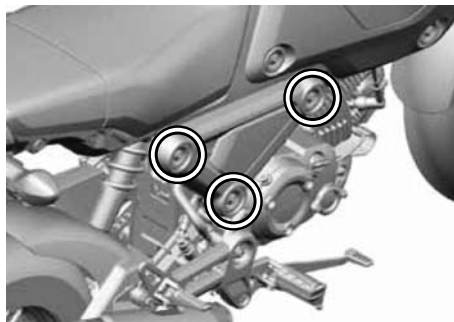
○接続を外した 3P カブラに③、④速度センサーサブケーブル 1 と 2 を接続します。



■車体右側 電源取り出し

◇サイドカバー C

○パンスクリュー 5x14 を取り外し、サイドカバー C を取り外します。



◇リアブレーキスイッチ

○リアブレーキスイッチに接続されている車体側の黒色ギボシ端子を取り外します。



◇②電源取り出しケーブルの接続

○取り出したギボシ端子に②電源取り出しケーブルを接続します。



◇①スピードメータードライブユニット ASSY. の取り付け

○⑤マジックテープセットを使用し、サイドカバー A の裏側に①スピードメータードライブユニット ASSY. を貼り付けます。



◇①スピードメータードライブユニット ASSY. の設定

○バッテリーのマイナス端子を戻し、取扱説明書の P8、P9 の説明に従い設定して下さい。

◎設定が全て終了すれば逆手順で取り外した部品を組み戻します。

■動作確認

※使用前に配線やカブラーの接続等に問題がないか起動確認を行います。

■動作確認 1

スピードメータードライブユニット本体を目視しながら、イグニッションキーをONにします。※エンジンは始動しなくても構いません。スピードメータードライブユニット本体の青LEDが2秒ほど点灯します。

▲注意 青LEDが2秒ほど点灯しない場合、配線接続に問題がある為、配線やカブラーの接続を再度ご確認ください。

■動作確認 2

ギアをニュートラルにし、センタースタンド又はメンテナンススタンドで車両を固定します。リアタイヤを回してスピードメータードライブユニット本体の青LEDが点滅するか確認します。※点滅していれば、正常にセンサーの信号が反応しています。

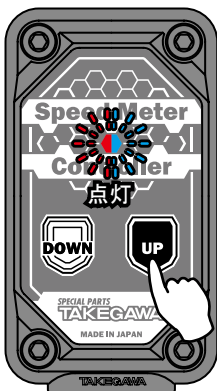
■動作確認 3

スピードメータードライブユニット本体を仮固定し、エンジン始動を行います。短距離走行し、純正スピードメーターの表示が1km/h以上表示するか確認します。

問題なく純正スピードメーターが動作する事が確認出来れば、ハーネスや配線をタイラップで固定し、取り外した外装類を戻します。

▲注意 取り付け車両により、外装類を戻さず、補正值入力を行った方がよい場合があります。スピードメータードライブユニット本体の固定位置や配線の取り回しをご確認の上、取り外した外装類を戻して下さい。

■スピードメーターコントローラー本体の設定

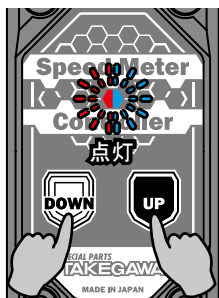


車両のメインキーをONにし、コントローラーの“DOWN”“UP”のいずれかのボタンを一回短押しする事で、コントローラーが設定モードになります。

■補正值未設定の場合、補正值は0%となっており、赤と青が同時に点灯します。

■以前に補正值の設定（パーセント%の入力）を行っている場合、保存された補正值の設定内容が色点滅で表示されます。
点滅色→赤：マイナス（-） 青：プラス（+）
点滅回数→設定した補正值のパーセント（%）
1回点滅：1%

ボタンの押し方	
	短押し
	1.5秒以上同時押し



■初期状態（補正值0%）に戻すには、“DOWN”“UP”ボタンを1.5秒以上同時に押したままにします。これにより、赤と青が同時に点灯し、初期状態（補正值0%）を表示します。

■補正值の保存方法

補正值の確定（保存）は、20秒以上以上操作しなければ、設定内容の色点滅が消灯して自動で保存します。※消灯するまで電源を切らないで下さい。消灯前に電源を切ると保存されません。

←左のイラストは“DOWN”“UP”ボタンを同時に1回短押しした初期状態に戻すイラストです。

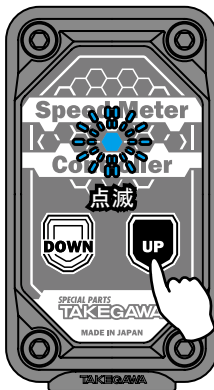
■補正值の入力方法 初期状態（補正值0%の状態からの入力）

補正值入力前に補正值の値（パーセント%）を求めます。

本ページの下にある“補正值の求め方”を参照し、計算式に各数値を当てはめ、値を求めて下さい。

求めた値（パーセント%）分の数をボタン操作により、入力します。

例：-5% → “DOWN” ボタン5回入力 例：+5% → “UP” ボタン5回入力



コントローラーが設定モードになった状態（赤と青が点灯した初期状態）で“DOWN”、又は“UP”を1回短押しする事により、1%ずつ補正值が変化します。インジケーターも押した回数分、色点滅します。

点滅色→赤：マイナス（-） 青：プラス（+）
点滅回数→設定した補正值のパーセント（%）
1回点滅：1%

■“UP” ボタンを押した回数が多い場合は、“DOWN” ボタンを押す事で、“DOWN” ボタンを押した回数分の値（点滅回数）が減少し、点滅します。
■“DOWN” ボタンを押した回数が多い場合は、“UP” ボタンを押す事で、“UP” ボタンを押した回数分の値（点滅回数）が減少し、点滅します。

←左のイラストは“UP” ボタンを短押しし、補正值を1%ずつ上昇する場合のイラストです。

■補正值を10%ずつ入力する方法



補正值が二桁の場合（例：35%）、35回ボタンを押す事でも入力が可能です。10%ずつ（ボタン10回分）行う入力方法もあります。

■10%ずつの入力方法

+10%の場合
“DOWN” ボタンを押しながら“UP” ボタンを1回押す事で、+10%（10回分）が入力されます。

-10%の場合
“UP” ボタンを押しながら“DOWN” ボタンを1回押す事で、-10%（10回分）が入力されます。

例：+35% 通常入力方法 → “UP” ボタン35回入力
■10%ずつの入力方法を使用した場合！
“DOWN” ボタンを押しながら“UP” ボタンを3回短押し、“UP” ボタンのみを5回短押しする事で、+35%の補正值が入力されます。

※入力順はなく、短押しを1回押すと1%、“DOWN” ボタンを押しながら“UP” ボタンを1回短押しすると10%入力されます。

↑上のイラスト “DOWN” ボタンを押しながら“UP” ボタンを1回押す（+10%）



■10%毎のインジケーターの点滅は一桁（1%毎）の点滅とは異なり、長めのゆっくりとした点滅で1回（10%）点滅します。
例：各35%の場合の点滅
長めのゆっくりとした10%毎の点滅が3回後、短い点滅が5回点滅します。

※補正值の確定（保存）は、20秒以上操作しなければ、設定内容の色点滅が消灯して自動で保存します。再起動時、保存した補正值の数が色点滅します。

補正值の求め方

■スプロケットの丁数を変更する際、下記計算式から補正值の値を割り出す事が出来ます。太枠内の数値が“補正值”の値となり、メーターに入力する数値になります。

変更前のドリブンスプロケットの丁数
(変更前のリアスプロケット丁数)

変更後のドリブンスプロケットの丁数
(変更後のリアスプロケット丁数)

÷

変更前のドライブスプロケットの丁数
(変更前のフロントスプロケット丁数)

変更後のドライブスプロケットの丁数
(変更後のフロントスプロケット丁数)

× 100 - 100 =

スプロケット変更時の補正值の値 (%)

■タイヤを変更する際、下記計算式から補正值の値を割り出す事が出来ます。太枠内の数値が“補正值”の値となり、メーターに入力する数値になります。

変更したタイヤの外周長

÷

純正タイヤの外周長
(変更前タイヤの外周長)

× 100 - 100 =

タイヤの変更時の補正值の値 (%)

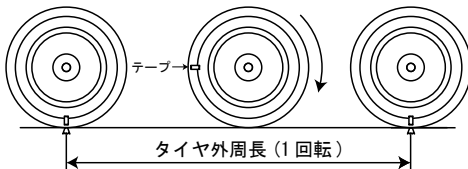
※タイヤ変更とスプロケットの丁数変更を同時に行う場合、各計算式で求めた値を足して下さい。下例B参照

■例A：対象車両が純正ドライブスプロケット14T、純正ドリブンスプロケット39T、純正タイヤで、ドライブスプロケット15T、ドリブンスプロケット33Tへ変更する際の補正值の求め方 ※小数点以下は四捨五入

■例Aの仕様を計算式に当てはめると → 39/14 (2.786) ÷ 33/15 (2.200) × 100 - 100 = +26.64% UP ボタン27回短押しを入力

■例B：対象車両が純正ドライブスプロケット14T、純正ドリブンスプロケット39T、純正タイヤ（外周長：1810mm）で、ドライブスプロケット15T、ドリブンスプロケット33T、3.00/17（外周長：1835mm）タイヤへ変更する際の補正值の求め方 ※小数点以下は四捨五入

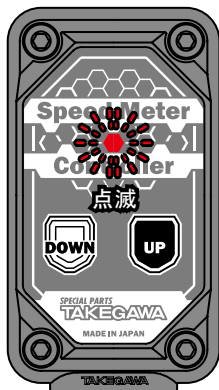
■例Bの仕様をスプロケット変更計算式に当てはめると → 39/14 (2.786) ÷ 33/15 (2.200) × 100 - 100 = +26.64%
タイヤ変更計算式に当てはめると → 1835 ÷ 1810 × 100 - 100 = +1.38% → 26.64% + 1.38% = 28.02% UP ボタン28回短押しを入力



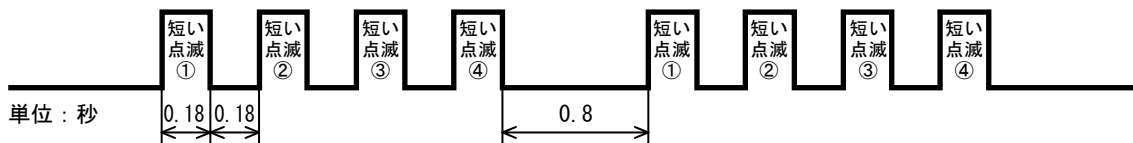
設定情報はボタン押下毎に変化し値はLEDの点滅状態で示します。設定とランプの表示は下記になります。

設定範囲 [%]	-60 ~ -1	0	+1 ~ +60
ボタン操作	DOWN ボタン押下	UP・DOWN ボタン 1 秒間同時押下	UP ボタン押下
ランプの状態	設定に応じて赤 LED 点滅	赤・青同時常時点灯	設定に応じて青 LED 点滅
メーター表示	現在の速度からメーターの表示速度がダウンします。	変化無し	現在の速度からメーターの表示速度がアップします。

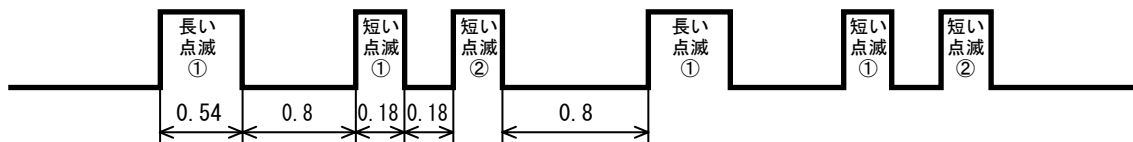
LED 点滅パターンと点灯



点滅例 C 補正值：-4%時 赤 LED で短い点滅を 4 回行います。（下記点滅パターン / 点滅時間）



点滅例 D 補正值：+12%時 青 LED で長い点滅を 1 回、短い点滅を 2 回行います。（下記点滅パターン / 点滅時間）



例 E 補正值：0%時 赤 LED と青 LED が同時に点灯します。

スプロケット丁数と設定の関係

変更比率	実際の走行速度	メーターの表示速度	コントローラーの設定
変更前の減速比 > 変更後の減速比	速度が上がる	速度が下がる	補正值の値を増やす
変更前の減速比 < 変更後の減速比	速度が下がる	速度が上がる	補正值の値を減らす

※減速比=ドリブン（リア）スプロケット÷ドライブ（フロント）スプロケット

タイヤ外周長と設定の関係

タイヤ外周長	実際の走行速度	メーターの表示速度	コントローラーの設定
変更後 > 変更前（タイヤ外周長大）	速度が上がる	速度が下がる	補正值の値を増やす
変更後 < 変更前（タイヤ外周長小）	速度が下がる	速度が上がる	補正值の値を減らす

⚠ 当製品は、純正スピードメーターに表示される速度を増減補正する事が出来ませんが、不適切な設定を行なえば速度超過により取り締まりを受ける原因ともなります。公道でお使いになる場合は、ご自身の責任に於いてご使用下さい。
走行時は遠心力でもタイヤ外径は大きくなります。表示されている速度に問題ないか確認を行ってからご使用下さい。
スピードメーターの速度値も変化しますが、同時に走行距離も同じく変化します。変化率はスピードメーターの変化率と同じになります。
走行中の設定は事故の原因になりますのでご注意ください。
ABS 装置車は前後輪の速度を検出している為、設定値が大きく異なると ABS が異常と判断し、ABS 警告灯が点滅又は点灯します。
その場合、ABS は動作せず事故の原因になりますので注意願います。

＝ポイント＝

スイッチの設定値を変化させずに、タイヤの外径を大きくする、フロントのスプロケット丁数を増やす、リアのスプロケット丁数を減らすと実際の速度より遅い速度を表示するようになります。
同様にタイヤの外径を小さく物に変更する、フロントのスプロケット丁数を減らす、リアのスプロケット丁数を増やすと、実際の速度より速い速度を表示する様になります。
タイヤの外径やスプロケット丁数を変更せずに、スイッチの設定値を大きく（例 “0%” → “+5%”）すると、より早い速度を表示します。
同様に、設定値を小さく（例 “0%” → “-5%”）すると、より遅い速度を表示します。

⚠ 装着しているタイヤサイズ・スプロケット丁数に対し、設定値が適正な値より小さい場合は、実際の車速よりも純正スピードメーターに表示される速度の方が遅いという事になり、スピード違反の原因となりますので特にご注意ください。

●トラブルシューティング

イグニッションキーを ON にしても、スピードメータードライブユニット ASSY. 本体の青 LED が点灯しない。	キー ON で青 LED が点灯・消灯した後は、消灯しているのが正常です。 キー ON 時に全く点灯しない場合は、電源取り出しケーブルとリアブレーキスイッチの接続、及びスピードメータードライブユニット ASSY. とセンサーケーブルの接続に問題が無い確認して下さい。
純正スピードメーターに速度が表示されない。 走行しても 0km/h 表示のままになっている。	リアタイヤを回転させた時、スピードメータードライブユニット ASSY. 本体の青 LED が点滅しているか確認して下さい。 点滅していなければ、コネクタの接続に問題がないか確認して下さい。 タイヤの回転に合わせて青 LED が点滅しているにも関わらず、純正スピードメーターの表示が出ない場合は、コネクタの接続に問題が無い確認して下さい。 ニュートラルでは一定以上の速度でなければ表示しません。ニュートラル以外で確認して下さい。
走行すると純正スピードメーターに速度は表示されるが、値が不安定。	H. I. D. や他社製 LED ヘッドライトを装着したりすると、この様な不安定な異常が出たり、スピードメータードライブユニット ASSY. が破損する可能性がありますので、H. I. D. や他社製 LED ヘッドライトは絶対に使用しないで下さい。 またイグニッションコイルやハイテンションケーブルに近いとノイズによる誤動作も考えられます。それらから遠ざけて取り付けて下さい。 電源取り出しケーブルはブレーキから取り出して下さい。他の部位ではノイズの回り込みで誤動作する可能性があります。 速度センサーケーブルを延長するとノイズにより誤動作する可能性があります。
社外品の GPS 機器で表示される速度と比較すると、純正スピードメーターの表示の方が速く表示される。	『比較対象 GPS 装置の表示速度に誤差が無い』という事が前提ではありますが、純正スピードメーターは実測より速めに表示されるようになっております。 従いまして、ある程度速く表示される事は正常と考えられます。
ABS 警告灯が点灯又は点滅する。 走行開始後、ABS 警告灯が消灯しない。 (ABS 装着車のみ)	前輪速度と後輪（設定）速度の差が大きいと ABS が異常と判断し警告灯が点灯又は点滅します。 その場合、ABS は動作しません。 目安として ± 10km/h 以内に設定して下さい。

© この取扱説明書は弊社ホームページに PDF データーでアップしております。

印刷では表記が読みにくい等ございましたら弊社ホームページにてダウンロードしご確認ください。

